

1 悪魔の接吻

監督=丸山誠治



©1959東宝

1959(S34)●東宝●白黒●1時間27分●脚本=高木隆、加藤俊雄●撮影=中井朝一●音楽=池野成●美術=中古智●出演=草笛光子、河津清三郎、坪内美詠子、佐原健二、中丸忠雄、伊藤久哉

◆異母姉の夫である会社社長と愛人関係にある恒子(草笛)は、ある恐ろしい悪事を謀るが—。草笛のクールな美貌が恐怖を誘うスリラーの名品。

4 疑惑

監督=野村芳太郎 | 原作・脚色=松本清張



©1982松竹

1982(S57)●松竹●霧プロ●カラー●2時間7分●脚本=古田求、野村芳太郎●撮影=川又昂●音楽=芥川也寸志、毛利藏人●美術=森田郷平●出演=桃井かおり、岩下志麻、鹿賀丈史、柄本明、三木のり平、丹波哲郎、山田五十鈴

◆夫婦が乗った車が海に転落し、生き残った妻は殺人容疑者に—。弁護人・岩下志麻と被告・桃井かおりが熱演で火花を散らすスキャンダラスな法廷劇。

7 悪の階段

監督・脚本=鈴木英夫 | 原作=南條範夫



©1965東宝

1965(S40)●東宝●白黒●1時間44分●撮影=完倉泰一●音楽=佐藤勝●美術=中古智●出演=山崎努、団令子、西村晃、久保明、加東大介、久保菜穂子、土屋嘉男

◆金庫破りで大金を強奪した四人の男に一人の女が加わり—。サスペンスの名手・鈴木英夫の傑作犯罪ノワール。団の冷徹な悪女ぶりが凄い。

10 悪の紋章

監督=堀川弘通 | 原作=橋本忍



©1964東宝

1964(S39)●宝塚映画●白黒●2時間11分●脚本=橋本忍、広沢栄、堀川弘通●撮影=逢沢譲●音楽=黛敏郎●美術=松山崇●出演=山崎努、新珠三千代、岸田今日子、佐田啓二、戸浦六宏、大坂志郎、志村喬

◆自分を汚職の罠にかけた黒幕を探る元警官が、凶悪な事件に巻き込まれてゆく—。名脚本家・橋本忍の連載小説が原作の骨太スリラー。

2 からみ合い

監督=小林正樹 | 原作=南条範夫



©1962松竹

1962(S37)●にんじんくらぶ●白黒●1時間48分●脚色=稻垣公一●撮影=川又昂●音楽=武満徹●美術=戸田重昌●出演=岸恵子、仲代達矢、川津祐介、芳村真理、渡辺美佐子、千秋実、山村聰

◆余命宣告をされた実業家の莫大な遺産は誰の手に—。妻(渡辺)や秘書(岸)ら女達の握る秘密が思わずラストへと導く衝撃の群像ミステリー。

5 密会

監督・脚本=中平康 | 原作=吉村昭



©日活

1959(S34)●日活●白黒●1時間12分●撮影=山崎善弘●音楽=黛敏郎●美術=松山崇●出演=桂木洋子、伊藤孝雄、宮口精二、細川ちか子、千代侑子、鈴木瑞穂

◆不倫関係にある人妻と若い学生は、逢引き中に強盗事件を目撃し—。中平康の隠れた名作で、ドライな演出が恐怖を搔き立てるスリリングな1本。

8 女の中にいる他人

監督=成瀬巳喜男 | 原作=エドワード・アタイヤ「細い線」



©1966東宝

1966(S41)●東宝●白黒●1時間42分●脚本=井手俊郎●撮影=福澤康道●音楽=林光●美術=中古智●出演=小林桂樹、新珠三千代、三橋達也、若林映子、草笛光子、長岡輝子、加東大介

◆殺人を犯した夫と罪を告白された妻は—。全篇に謎めいた緊張感が漂う、成瀬晩年の異色スリラー。妻役の新珠の静かな冷たさが怖い。

11 おんなの渦と淵と流れ

監督=中平康 | 原作=榛葉英治「渦」



©1964東宝

1964(S39)●日活●白黒●1時間55分●脚本=成沢昌茂●撮影=山崎善弘●音楽=黛敏郎●美術=大鶴泰弘●出演=仲谷昇、稻野和子、雨宮節子、北村和夫、加藤武、神山繁、小沢昭一

◆英文学者の貞淑な妻は、夫以外の男たちとの性愛に溺れてゆく—。鬼才・中平ならではの実験的な映像美に圧倒されるミステリアスな官能ドラマ。

3 脂のしたたり

監督=田中徳三 | 原作=黒岩重吾



©KADOKAWA1966

1966(S41)●大映東京●白黒●1時間25分●脚本=高久進●撮影=中川芳久●音楽=池野成●美術=高橋康一●出演=田宮二郎、富士真奈美、久保菜穂子、成田三樹夫、鈴木瑞穂、金子信雄

◆証券会社調査員が探る株の買い占めの裏には謎の女がいた…。金融界でうごめく欲望と陰謀を描いたミステリー。久保と富士の妖艶さが光る。

6 お傳地獄

監督・脚本=木村恵吾 | 原作=邦枝完二



©KADOKAWA1960
*デジタル上映

1960(S35)●大映東京●白黒●1時間26分●撮影=石田博●音楽=小川寛興●美術=柴田篤二●出演=京マチ子、船越英二、川崎敬三、水谷良重、菅原謙二、殿山泰司、浦辺彌子

◆難病の夫を抱えたお伝には、次々と男たちが言い寄り…。“明治の毒婦”高橋お伝を題材にした哀しくも激しい女の半生を、京が熱演する。

9 波の塔

監督=中村登 | 原作=松本清張



©1960松竹

1960(S35)●松竹大船●カラー●1時間38分●脚本=沢村勉●撮影=平瀬靜雄●音楽=鎌田創●美術=芳野尹孝●出演=有馬稟子、津川雅彦、桑野みゆき、南原宏治、石濱朗、峯京子、沢村貞子

◆駆け出しの青年検事(津川)は、政治プローカーの妻(有馬)と運命的に恋に落ちるが—。女性映画の名匠・中村登が挑んだ文芸色の強い清張もの。

12 事件

監督=野村芳太郎 | 原作=大岡昇平



©1978松竹

1978(S53)●松竹●カラー●2時間18分●脚本=新藤兼人●撮影=川又昂●音楽=芥川也寸志、松田昌●美術=森田郷平●出演=永島敏行、松坂慶子、大竹しのぶ、渡瀬恒彦、山本圭、丹波哲郎、佐分利信

◆大岡昇平のベストセラーを新藤兼人の脚本で映画化した社会派法廷劇。事件の当事者となる永島、松坂、大竹の感情剥き出しの熱演は圧巻。

2023年6月10日(土)~6月30日(金)・20日間

◆=デジタル上映

◆マークのない作品は、全て35mmフィルムでの上映となります。

各回完全入替制

土日祝	11:00	1:15	3:30	5:45	終映時刻 ↓
平 日	12:00	2:15	4:30	7:15	
6月10日[土]	1●悪魔の接吻	2●からみ合い	3●脂のしたたり	4●疑惑	7:52
6月11日[日]	2●からみ合い	3●脂のしたたり	4●疑惑	1●悪魔の接吻(6:10)	7:37
6月12日[月]	3●脂のしたたり	4●疑惑	1●悪魔の接吻(4:50)	2●からみ合い	9:03
6月13日[火]		〈設備点検のため休館します〉			
6月14日[水]	1●悪魔の接吻	2●からみ合い	3●脂のしたたり	4●疑惑	9:22
6月15日[木]	2●からみ合い	3●脂のしたたり	4●疑惑	1●悪魔の接吻	8:42
6月16日[金]	4●疑惑	1●悪魔の接吻(2:35)	2●からみ合い	3●脂のしたたり	8:40
6月17日[土]	5●密会	6●お傳地獄*	7●悪の階段	8●女の中にいる他人	7:27
6月18日[日]	6●お傳地獄*	7●悪の階段	8●女の中にいる他人	5●密会	6:57
6月19日[月]	7●悪の階段	8●女の中にいる他人	5●密会	6●お傳地獄*	8:41
6月20日[火]	8●女の中にいる他人	5●密会	6●お傳地獄*	7●悪の階段	8:59
6月21日[水]	5●密会	6●お傳地獄*	7●悪の階段	8●女の中にいる他人	8:57
6月22日[木]	6●お傳地獄*	7●悪の階段	8●女の中にいる他人	5●密会	8:27
6月23日[金]	8●女の中にいる他人	5●密会	6●お傳地獄*	7●悪の階段	8:59
6月24日[土]	9●波の塔	10●悪の紋章	11●おんなの渦と淵と流れ(3:50)	12●事件(6:15)	8:33
6月25日[日]	10●悪の紋章	11●おんなの渦と淵と流れ(1:40)	12●事件(4:00)	9●波の塔(6:45)	8:23
6月26日[月]	11●おんなの渦と淵と流れ	12●事件(2:20)	9●波の塔(5:10)	10●悪の紋章	9:26
6月27日[火]	12●事件	9●波の塔(2:45)	10●悪の紋章(4:50)	11●おんなの渦と淵と流れ(7:30)	9:25
6月28日[水]	9●波の塔	10●悪の紋章	11●おんなの渦と淵と流れ(4:50)	12●事件	9:33
6月29日[木]	10●悪の紋章	11●おんなの渦と淵と流れ(2:35)	12●事件(5:00)	9●波の塔(7:45)	9:23
6月30日[金]	11●おんなの渦と淵と流れ	12●事件(2:20)	9●波の塔(5:10)	10●悪の紋章	9:26

★一部の作品に画・音の不良箇所がありますことを予めお詫び申しあげます。★作品名末尾の()内の数字は上映開始時刻です。()の無いものは日程表の上の通常時刻の上映開始となります。

※昨今の事情により、上映予定は劇場ホームページ等でご確認のうえ、ご来場ください。

入場料金 一般¥1300/シニア¥1100/学生¥900

(当日券のみ) ★水曜サービスデー 一般/シニア¥1000

●自由席定員制(99席 ※変更になる場合があります)

●整理番号制 ●各回完全入替制

●1階チケット売り場にて整理番号付き入場券を販売いたします。(当日券のみ)販売開始:土日祝10:00、平日11:00) ●開場は各回10分前を予定しております。●開映後の入場不可・混雑状況によってはご入場いただけない場合がございます。●販売後の変更、取り消しはできません。

有料入場5回で
1回無料の、お得な
ポイントカードサービス
実施中!

小学館グループ

神保町シアター

JINBOCHO THEATER

地下鉄神保町駅A7出口3分/JR御茶ノ水駅御茶ノ水橋出口8分

tel.03-5281-5132 http://jinbocho-theater.jp/

